

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護援助論Ⅳ (代謝・内分泌)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	看護師 横山 里佳子(臨床経験13年、教育経験11年)				
科目目標	1. 慢性的にある対象の特徴及び看護を理解する。 2. 生涯コントロールの必要な代謝・内分泌疾患患者の看護を理解する。 3. 対象の看護に必要な技術を習得する。				
授業概要	<p>内部環境(血糖)調節・内分泌機能障害のある患者の看護:14H 担当:看護師</p> <p>第1回 <b>糖尿病とは</b> (講義)            1)糖尿病の定義 2)糖尿病の症状 3)糖尿病の分類 4)糖尿病の検査 5)糖尿病の治療</p> <p>第2回 <b>糖尿病合併症</b> (講義)            1)慢性合併症 2)急性合併症 3)糖尿病と妊娠 4)糖尿病患者の看護</p> <p>第3回 <b>自己血糖測定、インスリン療法</b> (演習)</p> <p>第4回 <b>下垂体疾患患者の看護</b></p> <p>第5回 1)下垂体前葉機能亢進症(先端巨大症) 2)下垂体前葉機能低下症</p> <p>第6回 3)下垂体後葉疾患(SIADH、尿崩症) 4)下垂体の手術を受ける患者の看護</p> <p>第7回① <b>甲状腺疾患患者の看護</b>            1)甲状腺機能低下症 2)甲状腺腫瘍  <b>副甲状腺疾患患者の看護</b>            1)副甲状腺機能亢進症 2)副甲状腺機能低下症  <b>副腎疾患患者の看護</b>            1)アルドステロン症 2)クッシング症候群 3)副腎機能低下症 4)副腎髄質機能亢進症 5)副腎腫瘍</p> <p>第7回② 終了試験</p> <p>慢性期にある対象の特徴と看護:16H 担当:横山 里佳子</p> <p>第8回 <b>1. 慢性期にある患者の看護過程のポイント</b> (講義)            1)分析について 2)病みの軌跡 3)コーピング理論</p> <p>第9回 <b>1. 情報収集と情報の整理</b> (GW)</p> <p>第10回 <b>1. 情報の分析</b> (GW)</p> <p>第11回 <b>2. 患者の全体像の把握①(関連図)</b> (GW)  <b>1. 看護上の問題の明確化</b> (GW)  <b>2. 患者の全体像の把握②</b></p> <p>第12・13回 <b>1. 看護計画</b> (GW)  <b>2. 指導案及びパンフレットの作成</b></p> <p>第14回 <b>1. 保健指導のロールプレイ</b> (演習)</p> <p>第15回 <b>1. 保健指導の実施の評価</b> (GW)            (講義)</p>				
看護師国家試験出題基準	慢性疾患の特徴、主な慢性疾患の疫学、慢性疾患とともにある生活、治療選択・意思決定への支援、継続的な支援体制と連携 セルフケア・自己管理への看護、社会的支援の獲得への看護、血糖調節機能障害 糖負荷試験(OGTT)・血糖自己測定(SMBG)を受ける患者への看護、インスリン補充療法を受ける患者への看護 食事・運動療法、病期や機能障害に応じた看護(1型糖尿病、2型糖尿病)、内分泌機能障害のある患者の看護				
授業の進め方	臨床で遭遇する頻度が高く基本的知識として必要な内容を選択して教授する。				
履修のポイント・留意事項	形態と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、基礎看護援助論、成人看護学概論などの学習を想起する。				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 スーヴェルヒロカワ NANDA看護診断 定義と分類2015-2017 医学書院 系統別 観察・アセスメントガイド～病態関連図が書ける!～(改訂版) 照林社				
評価方法・配点	評価計画に準ずる。 科目終了試験(100%) 課題の提出状況及び授業態度(10%)看護過程記録(90%)				